

会議録

- 1 会議の名称 令和5年度 第2回 子ども・子育て会議
- 2 会議日時 令和6年1月11日（木）午後1時30分から午後3時
- 3 開催場所 熊取交流センター 煉瓦館 コットンホール
- 4 議題
案件1 会長、副会長の選出について
案件2 （仮称）熊取町こども計画の策定について
案件3 （仮称）熊取町こども計画策定に向けてのニーズ調査およびアンケート調査について
案件4 その他

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者数 1人

7 審議等の概要

案件1 会長、副会長の選出について

委員の互選により、大阪観光大学 理事長 山本健慈氏が選出された。

副会長は、会長の指名により、和歌山信愛大学 教育学部 子ども教育学科 教授の森下順子氏に決定した。

案件2（仮称）熊取町こども計画の策定について

・事務局説明

資料1 「（仮称）熊取町こども計画の策定について」に基づき説明を行った。

案件3（仮称）熊取町こども計画策定に向けてのニーズ調査およびアンケート調査について

・事務局説明

資料2 「（仮称）熊取町こども計画策定に向けてのニーズ調査およびアンケート調査について」に基づき説明を行った。

・質疑応答

■ニーズ調査の調査票について

【会 長】：アンケートについて紙の場合とWEBとで回収率に違いがあるか。

【事務局】：5年前の調査では、調査ボリュームが多く回収率が低かったが、今回、提案の調査票は調査ボリュームを圧縮しているため回収率は上がると想定している。さらに今回は対象が20代、30代の女性が多いと思われるためWEBによるアンケートは効果的と考えている。

【会 長】：最近、他の調査でもWEBアンケートは始まっている。

【事務局】：2年前からWEBアンケートを導入しているが、対象が高齢者ということもあり積極的に使っていただく結果にはつながっていない。今回は全国的に初めて若い対象でWEBアンケートを実施するため、回収率が上がるのではと予想している。

【委員】：やはりこども達は地域の中で育てていくことが大切と考えている。地域の中で盛んに行われている「あいさつ運動」についてどう思っているのか知りたいと考えている。

【事務局】：「あいさつ運動」であるが、令和4年4月に子どもの権利に関する条例を定めた際に、小学校、中学校にアンケートを実施している。その際、9割以上のお子さんが熊取町の良いところとして「自然に恵まれていて住みやすい」と「周りの方が優しいということ」の他に「しっかり挨拶をしてくれる」という意見をあげていた。今回、設問にはないが、自由意見欄もあるため、そこでの記入も期待できるのではないかと考えている。

【委員】：ヤングケアラーの設問を熊取町独自の設問としているが、わざわざ独自で入れるということは、その実態や懸念があるということか。

【事務局】：熊取町では令和3年度にヤングケアラーの調査を小学校、中学校を対象に実施しているが、国が令和4年度から6年度をヤングケアラーの認知度向上の集中取組期間としており、今回は経年変化を見たいということで独自項目に入れている。

【委員】：WEBアンケートとしても、設問が多いのではないかと考えている。

【委員】：回収率を増やすことは大切であり、WEBアンケートは効果的と考えているが、選択肢が多いのではないかと感じる。

【事務局】：調査のボリュームとしては、この状態であれば問題ないと考えている。あとWEBアンケートの利点としては紙では複雑に記載しているルールがWEBアンケートでは自動的に飛ぶ形になるためスピードは上がる。また選択肢についてもスマートフォンの画面で見れば問題ないと考えている。

【委員】：小学校5年生に対して難しい部分を解消してほしい。

【事務局】：WEBアンケートでは、回答に必要な設問が次々にでる形になる。学校側のサポートもあるため大丈夫だと思う。

【委員】：悩みを書く欄があり、切実な内容を書くケースが想定されるが、学校に対してのフィードバックはどうするのか教えてほしい。

【事務局】：調査は無記名であるが、学校ごとの集計はできると思う。直接的なフィードバックは出来ないと考えているが、そのような意見があれば学校長にフィードバックしたい。

【委員】：設問の中で「集いの広場」や「ホームスタート」等の独自の事業を提示した方がいいと思う。

【事務局】：設問の中で提示するよう修正する。

【委員】：インターネットについての設問があるが、LINE グループ等の問題もありスマートフォンの設問をもう1歩踏み込む必要があると思う。

【事務局】：未就学児童保護者、小学生児童の保護者あての調査票に、スマートフォン等の使用についての設問を設けられるよう検討する。

案件4 その他 ①部会の設置について

・事務局説明

資料11 「子ども・子育て会議部会（案）」に基づき説明を行った。

各部会ごとに集まり、それぞれ部会長および副部会長を決定した。

保育所・幼稚園部会 部会長：野中 泉 副部会長：赤坂 佐和子

放課後児童健全育成部会 部会長：中原 利明 副部会長：坂上 昌史

子育て支援部会 部会長：大谷 悟 副部会長：中塚 香織

地域・若者支援部会 部会長：平田 柊哉 副部会長：大幸 虎太郎

その他 ②熊取みどり幼稚園の利用定員設定について

・事務局説明

資料12 「熊取みどり幼稚園の利用定員設定について（案）」に基づき説明を行った。

・質疑応答

【委員】：子ども・子育て支援法に基づく幼稚園へ移行し、利用定員を設定する理由は。

【事務局】：移行する理由については、これまでの私学助成という補助金制度から、法律に基づく給付費での運営となることにより財政基盤が安定すること、また、利用定員の設定については、定員区分により、入所児童一人あたりの公定価格が設定される仕組みとなっており、実数に近い設定にする必要があるため。

【委員】：利用定員が各年齢60人で計180人の設定であるが、入所人数に応じた給付費が支給されるのか。

【事務局】：利用定員は現状の入所人数を勘案しており設定しており、費用については、町が入所人数に応じた給付費を支給し、その財源は、国が2分の1、大阪府及び町がそれぞれ4分の1を負担する。利用定員を超えた場合でも一定割合までは入所人数に応じた支給を行う。

8 審議会の情報

名称	子ども・子育て会議
根拠法令等	子ども・子育て支援法
設置期間	平成25年10月1日～
所掌事項	子ども・子育て支援計画の策定等に関する審議、実施状況及び推進に関すること。
委員数	25人

9 担当課

子育て支援課